



平和の尊さ 集団行動の在り方を あらためて学んだ修学旅行



11月13日（木）から14日（金）の2日間、維和・湯島・中北・中南の4つの小学校が連合して長崎県へ修学旅行に行きました。天候にも恵まれ、6年間のまとめとなる充実した学びの場となりました。語り部の方から被爆体験を伺い、平和記念公園や原爆資料館での学習を通して、平和の尊さを改めて深く考える貴重な機会となりました。

2日目はハウステンボスで活動し、楽しさの中にも協力やけじめを大切にする姿が見られました。一方で、けがのため参加できなかった児童がおり、本人の無念さや思うと胸が痛む思いでした。学校で、旅行の写真や出来事をしっかりと共有し、平和学習のまとめを6年生全員で行いたいと思います。4校の児童が互いに助け合い、温かく過ごす姿が多く見られ、この経験が今後の学校生活と人生の大きな支えとなることを願っています。で思う存分に楽しむことができ、楽しい中にも、けじめのある、学びの多い旅行となりました。この修学旅行での学びを、こからの人生の糧としてくれることを願っています。



被爆体験講話



フィールドワーク



わくわくの船



美味しい食事



楽しい仲間



ハウステンボス



平和集会



無窮洞(むきゅうどう)



「高齢者の祭典」で歌や踊りを披露

11月8日（土）、大矢野老人福祉センターで開催された「高齢者の祭典」に、中南小の3・4年生が参加しました。オープニングでは元気な歌声を披露し、続いて力強いソーラン節を踊りました。子どもたちの明るい笑顔ときびきびした動きに、会場からは大きな拍手が送られました。

踊りの後には、参加者の皆さんに感謝の気持ちを込めて肩もみを行い、とても喜んでいただきました。子どもたちは達成感と充実感に満ちた表情で、「楽しかった」「またやりたい」と話していました。地域の方々と直接ふれあい、温かい交流を通して学びを深めることができた、心に残る貴重な一日となりました。



いざというときにために 普段から

11月7日（金）、北消防署のご協力をいただき、火災を想定した避難訓練を行いました。「おさない・走らない・しゃべらない・もどらない」の“おかしも”を合言葉に、子どもたちは真剣に取り組んでいました。煙が充満した部屋を歩く体験や、消火器を使った消火体験、通報訓練を通して、火災の怖さや自分の身を守る行動について学ぶことができました。

いざという時に落ち着いて避難できるよう、普段の学校生活の中でも「静かに話を聞く」「廊下はゆっくり歩く」などを意識し、安全な行動を身につけてほしいと思います。



柳郵便局に児童の作品を 展示していただいています

柳郵便局のご厚意により、児童の書写作品を展示させていただいております。日頃の学習で培ってきた成果を、地域の皆さんに直接ご覧いただける大変貴重な機会となりました。子どもたちにとっても、自分の努力が地域の方々に評価されることは大きな励みになります。

展示にご協力をいただいております柳郵便局の皆さんに、心より感謝申し上げます。



持久走大会に向けて

11月26日の持久走大会に向け、子どもたちは体育の時間や朝のランニングで、それぞれが立てた目標に向かって意欲的に取り組んでいます。気温も落ち着き、長距離走には最適な季節となりました。本番では、これまでの努力が実を結び、一人一人が力を発揮してくれることを期待しています。当日の応援もよろしくお願いいたします。



「車椅子」をいただきました

熊本善意銀行様より車いすを寄贈いただきました。温かいご厚意に心より感謝申し上げます。いただいた車いすは、児童・生徒のけがや体調不良時、また行事などで大切に活用させていただきます。地域の皆様の支えに、改めて感謝いたします。



校長からの言葉

あいさつ ころ ひらく かぎ
「挨拶は心のドアを開く鍵」



あいさつは、人と人の心をつなぐ大切な「はじめの一歩」です。ある名言に「挨拶は心のドアを開く鍵」とあります。心のこもった気持ちのよいあいさつは、聞く人の心を明るくし、教室の空気まで温かくしてくれます。

友達や先生を大切に思う気持ちを、言葉で伝えるやさしい力があいさつです。

これからも、みんなで心のこもった、気持ちのよいあいさつがあふれる学校をつくっていきましょう。